

第 10 産業 経 済

第 10 産 業 経 済

群馬県経済は緩やかな回復基調にあるものの、多くの中小企業・小規模事業者は、物価、原材料価格、エネルギー価格の高騰などにより、依然として厳しい状況に置かれている。

産業経済部では、物価高騰等によりダメージを受けた県内産業の立て直しを図るとともに、地域企業の生産性向上、高付加価値化を進める等更なる成長を支援するため、商工団体や金融機関等と連携して経営相談、資金繰り支援、必要な人材の確保・育成等に取り組んだ。

また、新たな価値や富を創出するための取組として、デジタル技術を活用した新ビジネスの創出や自動車産業の構造転換に対応するための支援を行うとともに、スタートアップ企業を支援した。

加えて、近未来構想の実現に向け、デジタルクリエイティブ人材の育成や、クリエイティブ産業の集積・創出に取り組むとともに、リトリートの聖地の実現に向けた観光施策に取り組んだ。

【令和6年度の重点施策及び主な取組】

- 1 物価高騰等により影響を受けた既存産業の稼ぐ力の向上
 - ・ぐんまネクストジェネレーター
 - ・パートナーシップ構築宣言の推進
 - ・特別高圧電力価格高騰対策支援
 - ・事業承継支援

- 2 新たな価値や富を創出する取組
 - ・全県リビングラボの推進
 - ・次世代モビリティ産業参入支援
 - ・スタートアップ支援

- 3 近未来構想の実現に向けた事業の推進
 - ・デジタルクリエイティブ人材の育成及びクリエイティブの拠点化
 - ・心と身体を癒やすリトリート聖地化のための観光施策

1 産業政策費

(1) 社会参加費

決算額 1,017 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴き県政に反映するとともに、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等を支出した。

所 属 数	金 額
産 業 経 済 部 6 課 6 所	1,017 千円

(2) 産業政策企画推進

決算額 18,172 千円

① 産業情報収集・サポートガイド作成

ア 経済産業省等の発表資料や、県内中小企業・関係団体に関わる情報を収集、分析し、県内経済の状況を把握した。

イ 県や国等の中小企業支援施策、制度を網羅した「企業サポートガイド」を作成した。

② 群馬県産業振興基本計画の推進

群馬県における産業経済分野の基本指針となる群馬県産業振興基本計画を推進した。

③ ぐんまネクストジェネレーター

意欲ある若者とさらなる成長を求める群馬県企業をマッチングすることで、群馬県企業のバージョンアップと若者の最短距離での成長を後押しした。

区 分	実 績
企業と若者のマッチング件数	5 件

④ S D G s 推 進

S D G s を企業の経営戦略として活用する企業を増やし、持続可能な経営への転換を促すため、普及啓発（イベント開催）や情報発信を実施した。

区 分	参 加 者
イベント開催（SDGs Meet-UP Land）	100 名
情報発信（S D G s ぐんまビジネスプラクティス紹介団体）	40 団体

(3) 中小企業連携組織対策

① （公財）群馬県産業支援機構運営費補助

決算額 125,369 千円

中小企業の中核的支援機関である（公財）群馬県産業支援機構の運営費を助成し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事 業 名	補 助 額
（公財）群馬県産業支援機構運営費補助	125,369 千円

・令和6年度事業実績（主な事業・他の委託事業費も含む）

区 分	内 容
経営支援	ビジネスサポート BASE ぐんま運営（相談 1,716 件）、よろず支援拠点（相談 12,951 件）、事業承継・引継ぎ支援センター（相談 328 件、成約 36.5(※)件）、プロフェッショナル人材戦略拠点（相談 250 件、成約 65 件）、中小企業活性化協議会（相談 142 件、再生計画策定実績 36 件）

区 分	内 容
取引開拓支援	下請取引あっせん（紹介 410 件、成立 52 件）、広域商談会（受注商談 289 件）・個別商談会（商談 117 件）の開催、展示会出展支援（2 回、163 社）、下請取引適正化事業（相談 211 件）
ものづくり技術・産学連携支援	群馬ものづくり現場新人研修（2 回、114 人）、スマートファクトリー創出支援（導入 36 件）、競争的資金獲得支援等（53 件）

※他センターとの連携は 0.5 カウント

- ② 中小企業連携組織対策事業費補助 決算額 136,970 千円
 群馬県中小企業団体中央会に人件費を補助し、中小企業の組織化及び事業協同組合等への指導を行うとともに、同会が行う会員の人材育成や経営力強化などを支援し、中小企業団体の育成と運営の安定を図った。

事 業 名	補 助 金 額
群馬県中小企業連携組織対策事業費補助金	136,970 千円

・補助対象職員数・指導実績

区 分	内 容
補助対象職員数	指導員 18 人、職員 2 人
指導実績	実地指導 1,350 件、窓口指導 1,845 件

(4) 小規模事業対策 決算額 1,639,654 千円

- ① 小規模事業経営支援事業費補助

商工会・商工会議所が行う経営改善普及事業等及び商工会連合会が行う商工会指導事業等に助成し、小規模事業者の振興と経営の安定を図った。

主な事業活動の内容は、次のとおり。

- ・金融、税務、経理、販売管理、労務、技術の改善その他経営に関する指導等
 - ・小規模事業者の経営の改善発達に資する地域の活性化又は商工業の振興に関する事業の実施、協力、指導
 - ・経営、技術、各種制度等に関する情報、資料の収集及び提供
- 令和 6 年度における主な事業実績等は以下のとおり。

・補助対象職員設置数 (令和 6 年 4 月 1 日現在)

区 分	団体数	経営指導員	経営支援員 (旧補助員)	経営支援員 (旧記帳専任職員)	事務局 局長
商工会	43 団体	91 人	46 人	25 人	30 人
商工会議所	10	70	22		3
商工会連合会	1	20	5		
計	54	181	73	25	33

・指導実績

区 分	指 導 件 数		
	巡回指導	窓口指導	創業指導
商工会	31,942 件	25,215 件	357 件
商工会議所	9,707	13,366	394
商工会連合会	946	898	9
計	42,595	39,479	760

・補助額

区 分	補 助 金 額
商工会連合会・商工会	1,139,521 千円
商工会議所	490,468
計	1,629,989

② 小規模事業者エキスパートバンク事業費補助

商工会議所及び商工会連合会が小規模事業者及び創業を予定する者に専門家を派遣し、指導助言等を行うことにより、経営改善を図る経費を支援した。

事 業 名	事 業 内 容	補 助 金 額
小規模事業者エキスパートバンク事業費補助	派遣回数 101 件	3,364 千円

③ 商工会議所連合会補助

群馬県商工会議所連合会が行う商工業者振興事業等及び各商工会議所が行う広報活動事業等に助成し、商工会議所連合会及び各商工会議所の健全な育成と振興を図った。

事 業 名	補 助 金 額
群馬県商工会議所連合会補助	6,300 千円

④ 中小企業サポーターズ制度

県内の金融機関と、中小企業支援機関との連携による企業支援制度「群馬県中小企業サポーターズ制度」を県が運営し、きめ細かな中小企業の経営支援を展開することにより、県内中小企業の経営力のさらなる向上を図った。

区 分	発行回数
県中小企業サポーターズメールマガジン	24 回
サポーターズミーティングの開催	1 回 (117 人)

(5) 計量検定所

決算額

36,619 千円

計量法に基づき、特定計量器の検定及び検査等を実施するとともに、特定計量器を製造又は使用する事業者に対する立入検査を行い、正確な計量器の供給と適正な計量の確保を図った。

区 分	検定・検査数
検定 (タクシメーター、燃料油メーター、血圧計等)	11,310 個
検査 (基準器検査、計量証明検査等)	253 個
立入検査 (燃料油メーター、商品量目、届出・登録事業者等)	111 戸
「指定定期検査機関」による定期検査	3,291 個

2 未来投資・デジタル産業費

(1) デジタル産業創出

決算額

171,955千円

① ぐんま未来イノベーションLAB

オープンイノベーションによる新たなビジネス創出等を目的とした異業種連携のプラットフォーム「ぐんま未来イノベーションLAB」により、経営者や中核人材を対象とした連続セミナー・交流会を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
未来イノベーションLAB運営	「新たな価値」・「イノベーション」を創出するため、会員との共催企画（課題解決型ワークショップ等）や専用ウェブサイトでの情報発信（会員の課題・ニーズ等）などを行い、会員同士のネットワーク形成による自発的な共創プロジェクト創出を支援した。 会員数：652者（令和7年3月末日時点） 共催企画開催回数：4回 共催企画参加者数：延べ111名	2,349千円
未来共創セミナー	世界のビジネスの潮流やデジタル技術の動向、企業のイノベーション事例、変革期における経営の考え方などを学ぶ連続セミナーを開催した。 開催回数：9回 参加者数：延べ534名	

- ② 地域の産業社会にイノベーションをもたらす可能性のある、デジタル技術を活用して行う新たなビジネスの社会実証・実装プロジェクトを支援した。（補助上限額：3,000万円（スタートアップ加算：200万円、事業所移転加算：300万円）、補助率2/3）

区 分	採択件数	補助金額
ぐんま未来共創トライアル補助金	10件	156,477千円

- ③ 新規事業創出の手法を体系的に学び、異業種連携による社会課題解決型プロジェクト立ち上げを目指すワークショップ型カリキュラムを実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
課題解決型新事業創出カリキュラム「Next Base」	実施期間：令和6年11月～令和7年1月 （全6回） 参加者数：19名 プロジェクト組成数：5件	3,795千円

- ④ 地域課題やニーズを起点とした官民共創によるイノベーション創出を図るため、自治体が抱える地域課題を発表し、解決ソリューションを持つ企業・団体とのマッチングを実施したほか、官民共創プロジェクト創出に向けて伴走支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんまガバメントピッチ	開催日：令和6年10月22日 登壇自治体数：4自治体 (渋川市、吉岡町、神流町、片品村) 参加者数：105名	3,900千円

- ⑤ 新規ビジネス創出やイノベーション人材の育成を促すため、LAB 会員を対象に、全国の大学シーズとのマッチングによる共創プロジェクトの創出を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
異業種連携による共創プロジェクト創出支援	面談の中で各者の課題を把握し、ニーズに基づいたマッチング支援を実施した。(12月の面談にて各者の課題を把握し、1月以降にマッチング候補を交えた面談を実施) 参加者数：14者	3,680千円

(2) 未来投資促進

決算額 723,193千円

本社機能や試験研究施設の移転、県内企業の投資拡大を促進するため、東京圏、大阪圏での営業、企業誘致推進補助金や地域未来投資促進法等の優遇措置の活用など、誘致活動を展開した。その結果、令和6年工場立地動向調査において、立地件数(38件)で全国第8位と全国上位の実績に繋がった。また、特別高圧電力の価格高騰の影響を受けている県内事業者に対して、電気代高騰分の一部を支援した。

区 分	事業費
誘致活動及びフォローアップ(訪問件数：239件)	
企業誘致推進補助金(交付件数：1件)	68,063千円
特別高圧電力価格高騰対策支援金(交付件数：34件)	634,943

(3) 未来創造型企業誘致

決算額 5,060千円

県内産業の高付加価値化に資する企業による県内投資を促進するため、知事による外資系企業等向けのプレゼンテーションや都内イノベーション施設を通じた企業等との交流による関係構築などを実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
外資系企業等向けプレゼンテーション	在日外国商工会議所のネットワークを活用し、群馬県の投資環境の魅力等を発信した。 在日フランス商工会議所が、NETSUGENに群馬デスクを開設した。	1,218千円
都内コワーキングスペース利用	国内最大級のスタートアップ支援施設「CIC Tokyo」のコワーキング登録を行った。(2名)	2,117

(4) スタートアップ・創業支援

決算額 38,752千円

- ① 新たなビジネスモデルやプロダクト・サービスを有するスタートアップやベンチャー企業、事業者が登壇するイベント(NETSUGENピッチ)を実施した。

区 分	開催回数	登壇者数 (延べ)	聴講者
NETSUGENピッチ	4回	17者 +高校7校	191名

- ② 成長意欲あふれるスタートアップ、ベンチャー企業に対して、専門事業者による短期集中的な経営支援プログラム（アクセラレーションプログラム）を実施した。

区 分	内 容	事 業 費
ぐんまスタートアップ アクセラレーション プログラム	支援対象者数：4者 プログラム提供期間：6ヶ月間 成果発表会参加者数：37名	6,999千円

- ③ 金融機関、研究機関等と設立したコンソーシアムにより、研究開発型のスタートアップの創出に向けて支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
ぐんまテックプランングラ ンプリ	大学等の研究機関や企業の科学技術の事業化を支援するため、研究シーズをプレゼンテーションするコンテストを開催した。 ・参加者：約80名 ・ファイナリスト：9チーム (エントリー 20チーム) ・パートナー企業：5社	5,000千円

- ④ 学生や女性向けに創業機運の醸成を目的としたイベントを開催した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
起業機運醸成事業	・学生向け 起業家によるセミナーやビジネスプランを作成・発表するプログラムを実施した。 (高校生) 実施校数：6校、参加者数：643名 (大学生) 学内イベント（講義やゼミと連携） 実施校数：4校 学外イベント（県内外から大学生等を募集） 参加者数：14名 ・女性向け 女性創業者と参加者が対話交流できるセミナーを開催した。 参加者数：15名	2,200千円

- ⑤ 地域課題の解決に向け、新たに起業する者に対して起業支援金の交付と、起業後のフォローアップにより、創業から事業の安定化に向けて支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
地方創生起業支援	地域課題の解決に向けて新たに起業した者を対象に、起業支援金の交付と起業後の伴走を実施した。 ・起業支援金 10名、14,036千円	22,954千円

- ⑥ 群馬県産業支援機構において、創業前後の相談窓口を設置し、ビジネスプランの磨き上げ・マッチング支援を実施した。

区 分	事 業 内 容
相談窓口（ビジネスサポートBASEぐんま“ココカラ”）の運営	創業に関する相談件数 212件

3 地域企業支援費

(1) 貸金業対策

決算額 1,205 千円

貸金業法に基づき、資金需要者等の利益の保護を図るため、貸金業者の登録及び立入検査並びに苦情相談の処理を行った。

登録処理数 (うち更新登録)	登録業者数(令和6年度末)	立入検査件数	苦情相談処理件数
3件 (2件)	10業者	3件	3件

(2) 新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資基金積立 決算額 31,721 千円

新型コロナウイルス感染症関連制度融資に係る信用保証料補助返戻金及び運用益を基金へ積み立てた。

(3) 経営力強化支援

決算額 20,155 千円

- ① 経済環境の変化に対応して、新事業や新分野進出などに取り組み、経営の向上を目指す中小企業を支援するため、中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」の承認を行った。計画の承認を受けた企業では、制度融資等支援措置の活用による設備投資、新たな事業活動による受注拡大のほか、社外（金融機関、取引先）からの評価の向上、社内におけるモチベーションの向上等の成果が上がっている。

区 分	件 数
経営革新計画の承認	20件

- ② 県内企業のBCP（事業継続計画）策定率向上を目指し、「群馬県版オールハザードBCP策定フォーマット」を活用したセミナーやワークショップ等により、県内企業のBCP策定支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
オールハザード型BCP策定支援	BCPセミナー（基礎・概論セミナー）の実施 ・参加者数：53社74名 サイバーBCPセミナーの実施 ・参加者数：104社134名 群馬県版オールハザードBCP策定ワークショップの開催（計2回） ・参加者数：27社35名 BCMセミナー（BCPの運用に必要な見直しに関する講演及び演習）の実施 ・参加者数：29社38名	467千円

- ③ 中小企業の中核的支援機関である（公財）群馬県産業支援機構の取組を支援し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事業内容	補助額
経営総合相談窓口運営（相談1,716件）	19,562千円

(4) 事業承継支援

決算額

9,892千円

県内中小企業の円滑な事業承継を促進するため、「事業承継診断」、「事業承継計画策定支援」のほか、後継者不在事業者へのマッチング支援等を行う「ミライマッチング×継業イノベーター促進事業」、中小企業の後継（予定）者の新規事業等を支援する「アトツギベンチャー支援事業」を実施した。

事業区分	事業内容	事業費
群馬県事業承継ネットワークによる事業承継診断実施等支援	県内中小企業者に対して早期承継準備を働きかけるとともに、支援ニーズの掘り起こし等を行う「事業承継診断」「事業承継計画策定支援」の実施。 ・事業承継診断実施件数：2,878件 ・事業承継計画策定件数：134件	9,892千円
ミライマッチング×継業イノベーター促進事業	オープンネーム型マッチングプラットフォーム「ミライマッチング」を開設し、後継者不在事業者と継業希望者のマッチングを支援するとともに、若手人材等へ継業の魅力を訴求し、多様な担い手の参入を促す取組として「継業イノベーターCamp」を実施。 ・ミライマッチング支援・成約件数（累計）支援：29件、成約：9件 ・継業イノベーターCamp参加人数：15名	
アトツギベンチャー支援事業	中小企業の後継（予定）者が、事業承継を契機とした新規事業開発等に積極的に取り組めるように機運醸成、後継者支援を行う。 ・アトツギベンチャー参加事業者：5者	

(5) 中心市街地・商業活性化推進

決算額

864千円

- ① 商店街等が抱える個別具体的な課題の解決を支援するため、専門家を派遣しアドバイスを実施した。

組を展開した。

区 分	事 業 内 容		事業費
地域の稼ぐ力 向上モデル 事業 (参加事業者 6社)	ワーク ショッ プ	開催回数：全6回 第1回：キックオフと会社の軸の検討 第2回：変革プランを推進するための経営 デザイン 第3回：経営デザインを実現するためのデ ザインアクションの検討 第4回：プロトタイピングとテストマーケ ティング 第5回：進捗共有と成果発表会準備 第6回：経営目標策定とシミュレーション	5,940千円
	成 果 発 表 会	参加事業者6社から、取組事例を発表。 開催日：令和7年2月21日 会 場：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN 参加人数：26名 ※リアル会場とオンライン配信のハイブリ ッド方式での開催	

② 物流機能強化推進

ア 物流業界の現状や課題解決に向けた取組等について事業者が発信するため、セミナーを開催した。

区 分	参加人数
物流セミナー（(一社)群馬県トラック協会との共催) 開催日：令和6年12月13日 場 所：群馬県交通運輸会館 講 師：細野 桂一氏 (国土交通省関東運輸局群馬運輸支局 首席運輸企画専門官) 首藤 若菜氏 (立教大学経済学部経済政策学科 教授)	102人

イ 物流DXに関する基調講演と、物流効率化に関するグループディスカッションを実施した。

区 分	参加人数
物流効率化ミーティング 開催日：令和7年2月19日 場 所：県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催 講 師：飯村 順一氏 (株式会社アイシーカーゴ 物流運営統括部 統括部長 兼 輸配送営業部 部長)	54人

(8) 事業多角化・新分野進出支援 決算額 17,980 千円

「事業多角化支援コーディネーター」が金融機関等との連携による事業計画策定も含めた国の競争的資金獲得支援や各種マッチング支援等を通して、県内企業の事業多角化・新分野進出を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーターによる 伴走支援	企業訪問件数： 194件 事業多角化に関する案件： 33 補助金獲得総額： 815,600千円	17,946千円

(9) 受発注振興対策 決算額 21,630 千円

- ① 展示商談会「ぐんま Tech EXPO」を実施するほか、常設オンライン展示場「GUNMA VIRTUAL EXPO」を活用し、リアルとバーチャルのハイブリッドで販路拡大・ビジネスマッチングを支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんま Tech EXPO 2024	開催日程：令和6年12月18日、12月19日 場 所：ビエント高崎 出展企業数： 159社 来場者数：2,186人 商談件数： 844件	8,845 千円
常設オンライン展示場 「GUNMA VIRTUAL EXPO」	掲載企業登録数： 697社 ユーザー登録数：1,867人	458

- ② 取引の受発注のあっせん、経営及び技術指導、情報提供等の事業を行う群馬県産業支援機構への補助を通じ、下請中小企業の経営の安定化を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
下請中小 企業取引 情報提供等 事業費補助	下請あっせん 企業訪問件数：498件 あっせん件数：375 成約件数：33	12,263千円
関東5県 ビジネス マッチング 商談会	開催日：令和6年9月6日 参加企業：49社 商談件数：289件	
個別マッ チング	参加企業：43社 商談件数：96件	

(10) 中小企業技術振興対策 決算額 44,859 千円

中小企業の新技術・新製品開発に補助し、デジタル技術を活用した製品開発やDX推進等を支援することにより、「稼ぐ力」の向上を図り、競争力を高めた。

区 分	事業者数	対象事業費	補助金額
ぐんまDX技術革新補助金	9者	66,631千円	33,220千円
ぐんま技術革新チャレンジ補助金	28	29,330	9,157

(11) 次世代モビリティ産業参入支援

決算額

42,231 千円

(公財) 群馬県産業支援機構に設置した「自動車サプライヤー支援センター」において、コーディネート活動や電動化への技術支援の強化及びデジタル化対応に向けた人材育成等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーター	専任コーディネーターが県内自動車サプライヤー企業等からの相談に対応 (76 社・162 件)	42,231 千円
人材育成講座	EV化を見据えた関連技術の知識や技術の理解を促進し、ハードウェアとソフトウェアの両方の知識を有するエンジニアを育成。 ① CAE 基礎講座 (樹脂射出成形向け) 開催日程：令和 6 年 9 月 19 日、9 月 20 日 参加人数：19 名 (14 社) ② CAE 基礎講座 (プレス成形向け) 開催日程：令和 6 年 10 月 9 日、10 月 10 日 参加人数：20 名 (13 社) ※ 各講座、参加者を変えて 2 日間ずつ実施	
EVティアダウン説明会・解説会	EV車両の構造や技術的特徴を把握し、電動車分野への参入促進を目的に実施 ① 電動車ティアダウンキックオフ説明会 開催日：令和 6 年 10 月 2 日 参加人数：55 名 (27 社) ② EV車注目技術解説会 開催日：令和 6 年 12 月 13 日 参加人数：69 名 (41 社)	
品質保証セミナー	自動車業界の最新情報に関する情報提供を目的として開催 開催日：令和 6 年 12 月 19 日 参加人数：76 名 (45 社)	
勉強会	提案力・企業変革力を持つ地域サプライヤー群への成長支援を目的とした勉強会を実施 開催日程：令和 6 年 6 月～令和 7 年 2 月 (6 回) 参加人数：延べ 62 名	

(12) スマートファクトリー創出支援

決算額

31,241 千円

デジタルソリューションラボを拠点に、IoT・AI・ロボット・5G等のデジタル技術を導入してスマートファクトリー化を目指す県内中小企業を支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
コーディネーター	①スマートものづくりコーディネーター デジタル技術導入推進のため、コーディネーターを配置し、企業の現場で助言・指導を実施 導入支援数：36社 ②ロボット導入支援専門家派遣 ロボット導入に係る相談対応を実施 専門家派遣：7社 ③情報セキュリティ対策専門家派遣 情報セキュリティ対策に係る相談対応を実施 専門家派遣：9社	22,158 千円
ロボットシステムインテグレーター育成講座	開催日程：令和6年10月23日～10月25日 参加人数：28名	
DX推進人材育成研修	開催日程：令和7年2月13日、2月14日 参加人数：20名	
スマートファクトリー化支援セミナー、先進事例勉強会	①スマートファクトリー化支援セミナー 開催日：令和6年12月19日 参加人数：77名 ②先進事例勉強会 開催日程：令和6年11月28日、11月29日 参加人数：11名	
IoT活用セミナー、IoT人材育成講座	①IoT活用セミナー 開催日：令和6年12月18日 参加人数：51名 ②IoT活用人材育成講座 開催日程：令和6年10月～令和7年1月（7回） 参加人数：23名	4,560
3D金属積層技術講座	開催日程：令和6年6月（5日間） 参加人数：12名	2,198
3D金属積層実用化支援	支援期間：令和6年7月～令和6年12月 支援先：3者	2,263

(13) ぐんまスペース&エアロプロジェクト

決算額

10,267 千円

衛星データ利活用ビジネスのための解析技術習得にチャレンジする企業を募集し、ビジネス参入のための伴走支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
衛星データビジネス チャレンジ事業	①衛星データ解析等技術習得プロセスの構築 衛星データ利活用ビジネスへの新規参入のため に、必要となる衛星データ解析の技術を外部の専 門研修等を通じて習得。 ②チャレンジ事業 特定都市河川の開発状況の監視について、対象 エリアの開発状況を衛星データにより可視化する ことで、衛星データの有効性を示した。	10,054千円

(14) 地場産業総合振興対策

決算額

31,751千円

- ① 本県繊維産業産地の活性化を図るため、「産地組合」や「企業グループ」が行う事業
に対して補助した。

区 分	事業者数	事 業 内 容	補助金額
繊維産業産地活性化 推進補助	4団体	本県繊維製品の販路開拓、地域ブランド 確立及び人材育成等に対する支援	8,161千円

- ② 繊維業界において先進的な取組を行う県内外のファクトリーブランドを集めた展示
販売会を実施し、群馬の繊維産業をPRした。

区 分	事 業 内 容	事業費
GUNMA FASHION MARKET	開 催 日：令和7年2月11日 来場者数：延べ2,000人 協力企業：13社	7,558千円

- ③ 繊維をはじめとする県内地場産業の活性化を図るため、専門家による相談・助言体
制のもと、リトリートの視点を取り入れた新たな商品開発を実施する県内ものづくり
事業者等を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
サウナ・スパ関連商品等 開発支援事業	参 加 者：3チーム21者 開発商品数：3（繊維1・食品1・その他1）	3,886千円

- ④ 今後の地酒振興の柱の一つである「良質な県産酒米の生産・供給体制確立」に向け、
群馬県産業技術センターにおける機器整備を行うとともに、先進県視察を実施した。

区 分	整 備 内 容	事業費
酒 造 関 係 機 器 整 備	穀 粒 判 定 器	1,485千円
	洗 米 機	1,488
	冷 水 チ ラ ー	286

- ⑤ 郷土の自然とくらしの中で生まれ、受け継がれてきた伝統的な工芸品の存在を広く
県民に認知してもらうため、展示会を開催した。

区 分	事 業 内 容	事業費
群馬県ふるさと伝統工芸品展	開催日程：令和6年11月2日～11月5日 場 所：県庁県民ホール 出展品目：21品目 来場者数：延べ2,110人	1,595千円

- ⑥ 台湾台南市で開催された「2024年總爺和風文化祭」において、群馬県ふるさと伝統工芸品の展示や製作実演によるPRを行った。

区 分	事業内容	事業費
2024年總爺和風文化祭	開催日程：令和6年9月28日～12月15日 場 所：總爺芸文センター（台湾台南市） 出展品目：11品目 来場者数：オープニングイベント （9月28日～29日）・・・7,300人 全体・・・延べ約2万人	5,681千円

(15) 海外ビジネス展開支援

決算額

21,506千円

- ① 事業者の海外展開に関する具体的な課題解決のため、ジェトロや金融機関等の支援機関と連携して事業を実施した。

区 分	事業内容
ジェトロ群馬貿易情報センターとの連携	・貿易投資相談件数：196件 ・セミナー、商談会：5回 ・ハンズオン支援：10社

- ② 輸出に関する基礎知識の習得から実践となる商談会参加までを一貫して体験する、パッケージ型の支援を行った。

区 分	事業内容
グローバルビジネス実践塾	参加企業数：10社（加工食品・雑貨事業者） セミナー・ワークショップ：4回

- ③ 国際見本市に群馬県ブースを設け、県内企業に海外バイヤーや国内商社との商談機会を提供した。

区 分	事業内容	事業費
東京インターナショナル・ギフト・ショー春2025	開催日程：令和7年2月12日～14日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：8社 商談件数：773件	3,367千円
FOODEX JAPAN 2025	開催日程：令和7年3月11日～14日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：8社 商談件数：437件	4,909

- ④ 越境ECへの参入を目指す事業者を対象に、基礎的なセミナーやテストマーケティング等の支援を行った。

区 分	事業内容	事業費
越境EC参入支援事業	参加企業数：10社 出品商品数：10品 販売金額：7,000円	3,157千円

(16) 産業技術センター

決算額

1,001,936千円

- ① 県内企業の新製品開発や製品の付加価値の向上に対する支援をより一層充実させる

ため、試験機器等を整備した。

区 分	機 器 名	事 業 費
産業技術センター整備	タンデム四重極型・飛行時間型質量分析計	44,990千円
	水平／垂直切り替え式振動試験機	16,929

- ② 中小企業が必要とする技術情報の提供を行うとともに、技術者の研究開発能力の向上、技術課題の解決を図るための人材育成に関する研修等を開催した。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	産業技術センター技術情報「まる得通信」配信：46,903件 ホームページによる情報提供（アクセス数：338,306件）
中小企業技術研修	受託研修（5課程）受講者：199人

- ③ 企業からの依頼による受託研究、企業とセンターとの共同研究を実施し、企業の技術開発力の向上を支援した。また、国等からの外部資金を積極的に導入し、実用的な研究開発に取り組んだ。

区 分	実施件数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	9件	24,000千円
受 託 研 究	67	57,073
次 世 代 産 業 創 出 研 究	1	1,000
試 験 ・ 分 析 高 度 化 研 究	8	6,348
国等の競争的資金を活用した研究	6	5,250

以上の実用化を前提とする開発研究に取り組んだ結果、6件の特許出願（県と企業等との共同出願）を行った。

- ④ 技術開発に関する企業からの相談や分析・試験・加工等の依頼試験に応じるとともに、センターが保有する計測機器等を開放し、県内企業の製品開発力、技術力の向上を支援した。

区 分	件 数
技 術 相 談	18,709件
依 頼 試 験	25,731
機 器 開 放	2,161

(17) 繊維工業試験場

決算額

173,823千円

- ① 県内繊維関連企業の製品品質管理や製品開発を支援し、県内繊維製品の高付加価値化を図るため、機器整備を実施した。

区 分	整 備 内 容	事 業 費
繊維工業試験場整備	低温恒温恒湿器	2,143千円

- ② 中小企業が必要とする技術情報をホームページ・情報誌等で提供するとともに、講師派遣・講演会等を行った。また、中小企業の人材育成のための研修を行った。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	「せんい技術情報」等の発行・発信（延べ3,856件） 業務報告書配布（155冊）
研究発表等	研究発表：5件、講師派遣：12件、講演会等：4件
人 材 育 成	専門技術研修（2課程）受講者：計13人

- ③ 企業と県で研究経費を負担し合う公募型共同研究、企業からの依頼による受託研究、国等の外部資金を活用した外部資金研究及び企業、大学等との共同研究を行い、企業の技術開発力の向上を支援した。

区 分	件 数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	4件	2,000千円
受 託 研 究	2	720
外 部 資 金 研 究	7	9,580

- ④ 企業のニーズに応じて、繊維製品に関する物理試験・化学試験をはじめ分析、加工、分解などの依頼試験等を行い、繊維業界の製品開発力・技術力の向上を図った。また、企業の抱える様々な技術問題に対応するため技術相談を行った。

区 分	件 数
依 頼 試 験 等	4,892件
技 術 相 談	4,456

4 観光魅力創出費

(1) リトリート推進

決算額

164,592千円

① リトリート基盤整備

ア リトリート環境整備（ハード事業）

地域が一体となって取り組む面的な整備に対し、2件支援した。

実施主体	事業内容
桐生市黒保根町観光環境整備コンソーシアム	黒保根エリアにおける周遊性・長期滞在化のため、水沼駅周辺を整備
草津町リトリート推進共同体	温泉街周辺への周遊性を高めるため、スキー場のレストハウスを通年利用可能な施設へリニューアル

イ 長期滞在客等受入促進（ソフト事業）

県内旅行の長期滞在化及びコンテンツの付加価値向上を図るため、地域のソフト面での取組の動き出しに対して、3件支援した。

実施主体	事業内容
奥利根広域観光連携協議会	周遊促進コンテンツ創出、ポータルサイト構築など
高山村長期滞在客等受入促進共同体	ペット連れ旅行者向けサービスの充実・既存施設の改修など
みなかみ町ペットツーリズム普及促進共同体	ドッグランの設置や、インフルエンサーを活用した情報発信など

② リトリートブランド構築

リトリートのイメージ定着・促進に向けて、キャッチコピー「おかえり、本当のわたし」を策定し、PRを強化したほか、リトリートプランの商品化促進に向けてプラン造成・販売支援を行った。

区 分	事業内容	実績
リトリートプラン造成・販売支援	宿泊予約サイトの連携を含め、宿泊施設のプラン造成・販売を支援	・予約件数：4,505件 ・予約人泊数：12,750人泊
リトリート動画制作・配信	リトリートPR動画及びリトリート疑似体験動画を制作・配信	・再生回数：約48万回 ・再生回数：約5万回
インフルエンサー情報発信	動画クリエイターとタイアップしたリトリート体験動画を配信	・再生回数：約13万回

③ ペットツーリズム推進

群馬県へのペット同伴旅行の新規需要獲得に向け、各種事業を実施した。

区 分	事業内容
調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・デスクリサーチ（文献調査、トレンド調査） ・関東在住者416人を対象としたアンケート調査 ・有識者7名に対するインタビュー ・調査及び有識者の意見を踏まえた群馬県ならではの飼い主とペットが楽しめるコンテンツの研究
専用ウェブサイト構築・PR動画の制作	・県内のペットツーリズムの認知度向上と魅力発信を目的に、専用ウェブサイトを構築し、PR動画を制作
受入環境整備	・一部の県有施設にペット受入に係るカート等を提供

(2) インバウンド誘客促進

決算額

108,920 千円

① インバウンド基盤整備

多言語の観光情報ウェブサイトや SNS の運用により、海外に向けて本県の観光情報を発信したほか、ウェブサイトへのアクセスや SNS 登録者数を高めるための広告を各言語ページに掲載した。

また、外国人誘客に取り組む宿泊施設や飲食店等の観光事業者を「外国人誘客のためのパートナー施設」として登録し、オンライン研修会を通じて施設のレベルアップを図った。

区 分	対応言語	実 績
ウェブサイト	英語・中国語（簡体字・繁体字）・タイ語	セッション（訪問数） 英 語：248,217 回 繁体字：173,740 簡体字：14,457 タイ語：178,916 計：615,330
Facebook ページ	英語・中国語（繁体字）・タイ語	フォロワー数 英 語：22,981 人 繁体字：32,381 タイ語：38,747 計：94,109

区 分	対応言語	実 績
インスタグラム	英語・韓国語	フォロワー数 英 語：10,010 人 韓国語： 2,189 計 : 12,199

区 分	実施内容	実 績
交通チケットのデジタル化推進	群馬版 MaaS「GunMaaS」を活用し、主要観光地と県内 JR 駅を結ぶインバウンド向け電子交通チケットを造成	造成チケット数：5 件
「サステナブルな観光」取組推進	県内市町村等を対象としたサステナブル意識の醸成を促すセミナーの実施 モデル地域を選定し、専門家によるサステナブル国際表彰・認証取得を支援	セミナー：計 2 回実施、計 28 人が参加 モデル地域：3 地域選定
外国人誘客のためのパートナー施設	インバウンドに関心のある観光事業者をパートナー施設として登録し、情報提供や研修会を実施	新規登録 6 施設 累計登録数 242 施設
インバウンド受入環境整備のための研修会開催	パートナー施設を対象としたオンライン研修会の開催	計 5 回実施 計 49 人参加

② 外国人向けコンテンツ創出

都内外資系ホテル担当者をアドバイザーに任命し、現地や既存コンテンツ調査を行うとともに、磨き上げに向けた意見交換を行った。

区 分	実施内容	実 績
事業者向け説明会	コンテンツ事業者向けに事業概要やスケジュール等を説明	計 16 人参加
素材・既存コンテンツの視察	アドバイザーによる素材や既存コンテンツ視察を実施	計 33 件視察
事業者との意見交換	事業者およびアドバイザーによる視察をふまえたフィードバックおよび意見交換を実施	計 3 回開催 計 21 名参加

③ 海外情報発信・プロモーション

台湾、豪州、米国等を主なターゲットとして、YouTuber やインフルエンサー等を活用した情報発信や多言語版観光情報サイトへの誘引広告を実施した。

区 分	実施内容	実 績
海外向けインバウンド誘客デジタルプロモーション	各国の YouTuber およびインフルエンサーを活用した動画等による情報発信	再生回数 台 湾：701,828 回 香 港：151,758 米国・豪州：38,314
多言語版観光情報サイト誘引広告	多言語版観光情報サイトへのアクセス数増加のための誘引広告	広告による多言語版観光情報サイトへのセッション数 ：224,375 件

④ 広域連携誘客促進

北関東三県や北陸新幹線沿線地域との広域連携等により、海外の有力メディアを活用したオンライン事業等を実施した。

区 分	実施内容	実 績
北関東三県広域観光推進協議会	高崎市旅行公会冬期国際旅展 出展	アンケート回収数：488 件
北陸新幹線沿線地域広域連携	海外有力メディアを活用した 記事広告	本県関連記事掲載海外メディア：1 社
関東広域観光機構	SNS 等オンライン情報発信	Facebook リーチ数（本県分）： 492,800 回

⑤ インバウンド推進員設置

観光情報の収集・翻訳・発信等を行う会計年度任用職員を雇用し、Facebook ページやウェブサイト、各種プロモーション資料等、多言語での本県観光情報発信を行った。

(3) 観光事業振興対策

決算額 192,555 千円

① 観光宣伝

首都圏からの誘客促進及び群馬県のプレゼンス向上を目的に観光宣伝を実施した。

区 分	事業内容	事 業 費
J R 東日本と連携した誘客促進	<ul style="list-style-type: none"> J R 東日本高崎支社と連携し、高崎駅舎内外をぐんまちゃん一色に装飾した大規模イベント「ぐんまちゃん高崎駅ジャック」を開催 期間中は本イベント限定の特別な企画や、首都圏の J R 主要駅で本イベントや群馬観光の P R を実施 開 催 日 7月1日～7月31日 場 所 J R 高崎駅、首都圏 J R 主要駅（新宿駅など） 主な事業 高崎駅舎内外をぐんまちゃん一色に特別装飾 グリーティングの実施、特別列車の運行	15,000千円
ぐんまの山岳観光推進	<ul style="list-style-type: none"> 登山アプリと連動したデジタルバッジ獲得キャンペーンによる誘客促進 山岳特集記事の作成及び特集ウェブページへの掲載 山のグレーディング冊子の更新・印刷 等 【デジタルバッジキャンペーン】 実施期間：①7月13日～9月20日 ②9月21日～11月17日 バッジ獲得ユーザー：①：5,496人 ②：3,037人	8,329

区 分	事業内容	事業費
国内広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラ割「北関東周遊フリーパス」（ETC車限定で北関東三県内の高速道路が定額で乗り降り自由）の実施 ・高速道路サービスエリア（佐野SA）での北関東三県誘客イベント実施 物産に関するアンケート実施：196人回答	600千円

② 群馬県域DMOの推進

多様な関係者と連携して観光地域づくりを進めるため、県域観光地域づくり法人（DMO）である（公財）群馬県観光物産国際協会の補助事業として実施した。

区 分	内 容	実 績
データプラットフォームの構築	各種のデータ（ビッグデータや統計データ、アンケート調査データ等）を県域DMOに集約し、観光客の動向や地域の課題をテーマに分析レポートを作成し、関係機関等に提供した。	レポート作成 25件 （内訳） 事業効果検証 1 意識調査 3 認知度調査 1 データ分析等 20
観光統計整備	データプラットフォーム構築に向けた取組の一環として各市町村の観光の現状と課題を把握するため、観光入込客数等の調査を実施した。	四半期調査 35市町村に照会 データ集計・報告 地点調査 県内 29 地点におけるアンケート調査の実施・集計・報告

③ ぐんまビジタートイレ認証

誰もが清潔で安全・安心・快適に利用できるトイレを「ぐんまビジタートイレ」として認証することにより、県内観光地のイメージアップと集客を図った。

区 分	認証箇所数
新規認証	2箇所
更新認証	92

※認証箇所総数：259 箇所

④ ユニバーサルツーリズム推進

高齢者や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく旅行を楽しむことができる「ユニバーサルツーリズム」を推進するため、ぐんまユニバーサルツーリズム相談窓口の運営やセミナーを開催した。

(4) 物産振興対策

決算額

725 千円

県産品の普及と品質向上を図るため、2年に一度の審査会を開催し、一定の基準を満たす県産品を「群馬県優良県産品」として認定しているほか、（公財）群馬県観光物産国際協会と連携し、県内の百貨店を活用した観光物産展を開催し、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。

また、本県を代表する「近代こけし」について展示販売を行うなど県内物産の振興を図った。

区 分	事業内容	事業費
群馬県優良県産品推奨制度	県内の事業者が企画製造販売を行う加工食品、工芸品等を審査の上、「群馬県優良県産品」として認定。※推奨期間：令和6年4月～令和8年3月 ・認定事業者数 135 事業 ・認定商品数 254 品	
物産展開催	主な観光物産展の開催状況 ・高崎高島屋 出展者数：73団体 売上げ：42,467千円 ・スズラン前橋店 出展者数：54団体 売上げ：29,449千円	515
全群馬近代こけしコンクール	こけしの品質、意匠の改良及び技術の向上を図り、本県の「近代こけし」産業の振興発展に寄与するため、「第65回全群馬近代こけしコンクール」を開催した。 一般公開日：令和7年2月8日～2月10日 出品数：304点	210

(5) 大阪事務所運営

決算額

12,337千円

関西地域を中心に、群馬県への誘客促進を図るため、本県の魅力ある観光地や特産物などを効果的に宣伝したほか、企業情報収集活動等を実施した。

区 分	件 数	内 容
観光展・物産展開催	32回	イベント出展、観光案内
観光・物産案内	3,451人	来所、電話
企業情報収集	51件	企業訪問、Web会議

5 eスポーツ・クリエイティブ推進費

(1) eスポーツ推進

決算額

70,457千円

① U19e スポーツ選手権 2024

群馬県のブランド力向上及び県内関連産業育成を図るため、19歳以下のチームによる全国規模のeスポーツ大会「U19e スポーツ選手権」を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催期間：令和6年10月(4日間・オンラインにて開催) 競技種目：2部門 参加チーム数：全158チーム
決 勝	開催日：令和6年11月10日 場 所：Gメッセ群馬 展示ホール 観覧者数：552人 動画視聴回数：14,902回(令和6年11月13日時点)

② 第4回全日本eスポーツ実況王決定戦

eスポーツ大会に欠かせない実況者の育成及び登竜門となる国内唯一のeスポーツ実況者の大会「全日本eスポーツ実況王決定戦」を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催期間：令和6年10月(提出された実況動画を審査) 【一般部門】参加者：26人 【オンライン部門】参加者：6人
決 勝	開催日：令和6年11月9日 場 所：Gメッセ群馬 展示ホール 観覧者数：399人 動画視聴回数：37,322回(令和6年11月13日時点)

③ 群馬県企業等対抗社会人eスポーツリーグ2024(愛称：GUNMA LEAGUE)

eスポーツを通じた社内コミュニケーションの活発化や社外人材との交流促進、若者への企業認知度向上を目的に、群馬県内の企業対抗eスポーツ大会を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催期間：令和6年11月～令和7年1月 場 所：群馬県庁1階県民ホール等 参加チーム数：34チーム
決 勝	開催日：令和7年2月2日 場 所：世界遺産「富岡製糸場」西置繭所 参加チーム：6チーム

④ キーコンテンツの誘致

人気コンテンツIPを活用した集客力の高いイベントを開催することで「群馬県=eスポーツの聖地」を目指すこと等を目的に、株式会社ポケモンの協力により「ポケモンユナイトパーティー2025 in ぐんま」を開催した。

開催日：令和7年2月23日 場 所：オープンハウスアリーナ太田 来場者数：約4,500名
--

⑤ eスポーツ関連産業・人材育成

eスポーツ関連産業の振興や人材育成の一環として、実際のeスポーツイベントの企画・運営を体験する就職氷河期世代向けの就労支援研修の他、eスポーツ及び関連産業の振興を加速させるためのビジネスカンファレンスを開催した。

区 分	事業内容
eスポーツから学ぶイベントマネジメント&配信業務	開催期間：令和6年12月～令和7年2月(全7回) 場 所：群馬県庁昭和庁舎、スマーク伊勢崎 受講者数：35人
eスポーツ×ビジネスカンファレンスGUNMA2025	開催日：令和7年3月18日(火) 場 所：群馬県庁1階県民ホール 主催：群馬県、共催：一般社団法人群馬県eスポーツ連合 来場者数：114人 出展団体数：18団体

⑥ 福祉分野(障害者、高齢者)での活用

年齢・性別・身体能力等にかかわらず、誰でも参加しやすい e スポーツの特徴を生かし、障害者・高齢者関係団体と連携の上、福祉分野での e スポーツ活用に取り組んだ。

ア 障害者向けの取組

開催日：令和 6 年 8 月 12 日（月・祝）
場 所：群馬県庁 31 階 GINGHAM
参加者数：約 200 名

イ 高齢者向けの取組

区 分	実施回数	参加者数
e スポーツ講座	3 回	45 人
e スポーツ体験会	5	410

(2) クリエイティブ推進

決算額 506,622 千円

① デジタルクリエイティブ人材育成

2040 年までにクリエイティブな企業や人に選ばれるクリエイティブ拠点化を推進するため、デジタルクリエイティブ人材育成拠点「tsukurun」を運営するとともに、デジタルクリエイティブ人材の育成、発掘及びレベル向上のため、デジタルクリエイティブコンテストを実施した。

ア tsukurun の概要

場所：アクエル前橋 2 階
対象者：県内在住在学の小中高生
体験できる主な技術：3DCG、2DCG、ゲームエンジン、VR、VFX など

イ tsukurun 令和 6 年度実績

年間利用者数：4,915 人(令和 5 年度：3,530 人)
新規登録者数：508 人
イベント実施回数：152 回
出張講座：16 か所で実施

ウ デジタルクリエイティブコンテストの実施

応募件数：前期（8 月 19 日～9 月 29 日）・・・174 作品
後期（12 月 23 日～1 月 31 日）・・・159 作品

② TUMO センター導入準備

日本一のデジタルクリエイティブ人材輩出県を目指し、国際的に評価の高い TUMO センターのプログラムを導入した TUMO Gunma を導入するための施設を整備し、運営体制の構築や設置管理条例を制定した。

区 分	事業内容
施設整備	G メッセ群馬 4 階を改修した。本体工事については 3 月 31 日に竣工し、PC 等の必要な機材も整備した。
運営体制	運営体制については、令和 7 年度は県直営（一部業務委託）で運営を実施することとし、プロポーザルにて委託事業者を選定し、必要な運営体制を構築した。

区 分	事業内容
設置管理条例	令和7年第1回定例会で、ツーモグンマ設置及び管理に関する条例を制定した。

(3) 施設活用

決算額 145,079 千円

① Gメッセ群馬の運営

指定管理者と連携し、適正な管理・運営を実施した。

ア Gメッセ群馬利用実績(令和6年度)

区 分	実 績			
利用件数	724 件(催事別内訳)			
	学会・大会	22 件	式典	13 件
	講演会・セミナー	186	その他イベント	85
	会議	256	コンサート・ライブ	3
	展示会	67	その他興行	9
	試験・就職説明会	81	自主事業	2
日数稼働率	施設全体 : 95.5% 展示ホール : 58.3% メインホール : 70.9%			
来場者数	297,445 人			
収支	56,611 千円 (収入 : 723,976 千円、支出 : 667,365 千円)			

イ 主な点検・改修等

業 務 名
北口線植栽管理工事
雨水排水ポンプ設備点検保守業務
雨水貯留槽点検清掃業務
駐車場精算機新紙幣・新500円硬貨改修工事
ITVレコーダーHDDユニット交換工事
駐車場管理規程看板改修工事
減圧式逆流防止器交換工事
サイネージシステム改修工事

② MICEの推進

MICEの誘致活動、開催支援及びイベント主催者と県内事業者のマッチング支援について、「群馬県コンベンションビューロー」と連携し実施した。また、東京や大阪で開催されたMICEに関する展示商談会へ(公財)群馬県観光物産国際協会及び(公財)前橋観光コンベンション協会とともに出展した。

※MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

ア MICE誘致・イベント産業支援実績

区 分	件 数
MICE誘致件数	13件
マッチング支援件数	50

(4) クリエイティブ拠点化推進

決算額 60,680千円

① Gメッセ群馬クリエイティブ拠点化基本構想

群馬県の「クリエイティブ拠点化」を推進するため、隣接地を含めたGメッセ群馬のクリエイティブ施設整備に向けた「Gメッセ群馬クリエイティブ拠点化基本構想」を策定した。

② Gメッセ群馬スタジオ利用実証実験

撮影スタジオの運営ノウハウや映像制作に関する知見、必要な機能や設備等のニーズを把握するため、Gメッセ群馬の展示ホールで行うスタジオ撮影に対し、実証的に一部費用の補助を行った。

区 分	事業内容
スタジオ利用実績	・リアリティー番組撮影 27日間 ・ミュージックビデオ撮影 2日間

③ クリエイティブ産業移転促進補助金

群馬県内に移転意向のあるクリエイティブ関連企業の移転を促進するため、移転に係る初期費用や運営費用等を補助する制度を創設した。

区 分	事業内容
企業誘致	令和6年6月、都内アニメ制作会社が前橋市に新オフィス開設

④ 知事トップセールス・トップ外交

業界大手のクリエイティブ企業に対し、デジタルクリエイティブ人材育成での連携や大型映像作品制作の誘致をするため、知事によるトップセールスを実施した。

区 分	事業内容
トップセールス	クリエイティブ企業2社にトップセールスを実施 令和6年4月19日 東映株式会社 令和6年12月20日 木下グループ株式会社

(5) 映像制作サポート

決算額 97,009千円

① ぐんまフィルムコミッションによるロケ誘致

ぐんまフィルムコミッションを総合窓口として、県内のフィルムコミッション・市町村と連携し、映画・ドラマ等の撮影支援を実施した。

区 分	件数
映画・ドラマの支援等	・相談件数：506件 ・支援件数：64件（撮影日数190日）

② 県内ロケ地等開拓

県内ロケ受入体制拡充のため、撮影に活用できるロケ地やロケ弁・機材レンタル等に対応できる県内事業者を開拓し、ホームページに掲載した。

区 分	事業内容
県内ロケ地等開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地：33 件 ・撮影を支援する事業者：11 社

③ 情報発信

ぐんまフィルムコミッションの専用サイト・SNS を活用し、撮影を支援した作品のロケ地等をPRした。

区 分	件数
ぐんまフィルムコミッション専用サイト	ページビュー(閲覧数)：889,732 回 (期間：令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)
公式X【群馬県公式】ぐんまフィルムコミッション)	フォロワー数：6,020 人 (令和7年3月31日時点)